

大規模風水害・土砂災害に対応するための緊急消防援助隊に関する緊急対策

概要 要：平成30年7月豪雨での浸水地域における救助活動や夏季の過酷な気象条件下での長期の活動、北海道胆振東部地震での土砂崩れ等による救助活動が難航したこと等の課題を踏まえ、浸水地域や土砂崩落現場で活動する特殊車両など、効果的な消防活動に必要な車両・資機材を整備するとともに、消防機関の対応能力向上のため、実践的な実動訓練を行う。

対策名：47 大規模風水害・土砂災害に対応するための緊急消防援助隊に関する緊急対策

府省庁名：総務省消防庁

- **実施主体**：総務省消防庁
- **実施場所**：都道府県・消防機関
- **事業概要**：大規模風水害・土砂災害に対応するため、緊急消防援助隊の車両・資機材の整備を行った。
 - ・津波・大規模風水害対策車（小型バギー等積載）19台
 - ・中型水陸両用車及び搬送車4台
 - ・大型水陸両用車及び搬送車1台
 - ・重機及び重機搬送車28台
 - ・高機能救命ボート50台
 - ・映像伝送システム1式
 - ・教育訓練用資機材1式
- **事業費**：全体事業費約44億円
（うち3か年緊急対策による事業費約44億円）
- **効果**：静岡県熱海市土石流災害では、小型バギーにより泥濘地など悪路を走行し、資機材や人員の搬送を実施した。また、重機により土砂排除を行い、効果的な救助活動を実施した。

【静岡県熱海市土石流災害の活用実績】



○小型バギーで資機材・人員搬送【東京都大隊】



○重機で土砂排除【長野県大隊】